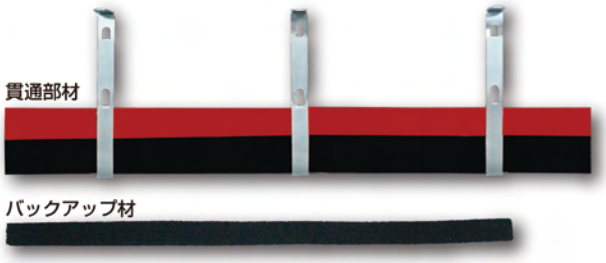
ご使用の前に必ずお読みください。

●製品内容

床用



床用	
	床用貫通部材……1コ バックアップ材……1コ 施工手順書……1枚

壁用

壁用	
	壁用貫通部材……1コ バックアップ材……2コ ALGテープ……2枚 施工手順書……1枚

注記　シリコーン系シーリング材は本製品に含まれません。

●適用範囲 (1)

項目		適用範囲		
		床貫通		壁貫通
		直管	継手	直管
躯体	種類	ALC／RC造		
	厚さ	100mm以上		75mm以上
	開口径	φ150mm以下	φ160mm以下	φ150mm以下
	充填材	バックアップ材＋シリコーン系シーリング材（JIS A5758適合品）		
	配管と開口部の隙間	7.5～12mm		
配管	管種	音ナインVU、VP／音シラズVU(2)		
	呼び径	50、65、75、100		

注(1)　令８区画、中空床、中空壁は適用外です。
注(2)　床貫通の音シラズは国土交通省の大臣認定のみの適用となります。（直管は性能評定申請中）

●適用開口径

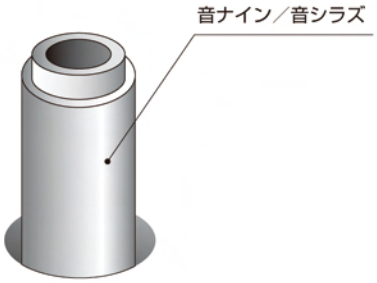
区　画 貫通部	配管	呼び径	開口径	
			ホールソー径 ALC 造（㎜）	ボイド管呼び径 RC 造（㎜）
床	直管	50	90,95	90
		65	105,110	100
		75	120,125	―
		100	150	―
	継手	50	100	90
		65	110,115	―
		75	125,130	125
		100	155,160	150
壁	直管	50	90,95	―
		65	105,110	―
		75	120,125	―
		100	150	―

床 貫通(直管)

床貫通の場合、直管に施工する場合と継手に施工する場合の２種類があります。
継手に施工する場合の手順は次ページを参照

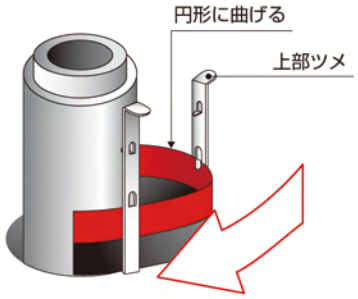
1 配管

音ナイン／音シラズの設置を行う。



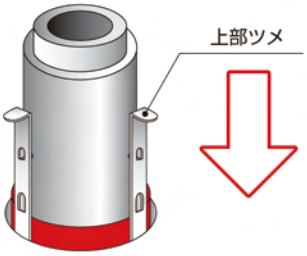
2 貫通部材の取付け準備

貫通部材の取付け前に、開口部周囲の埃･ゴミ等を除去する。
上部ツメが外側を向くように、貫通部材を円形に曲げる。



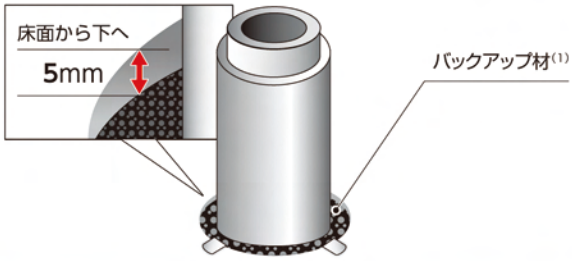
3 貫通部材の取付け

上部ツメを持ち、床に引っかかるまで挿入する。



4 バックアップ材の埋設

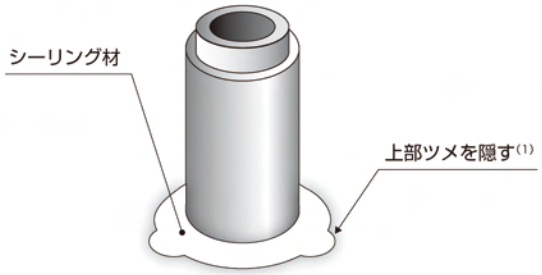
開口部と音ナイン／音シラズの隙間に、付属のバックアップ材を、
床面から下へ 5mm の位置で埋設する。



注(1) バックアップ材の合せ目が重ならないように施工して下さい。
呼び径65の場合､バックアップ材を50mm切断して下さい。

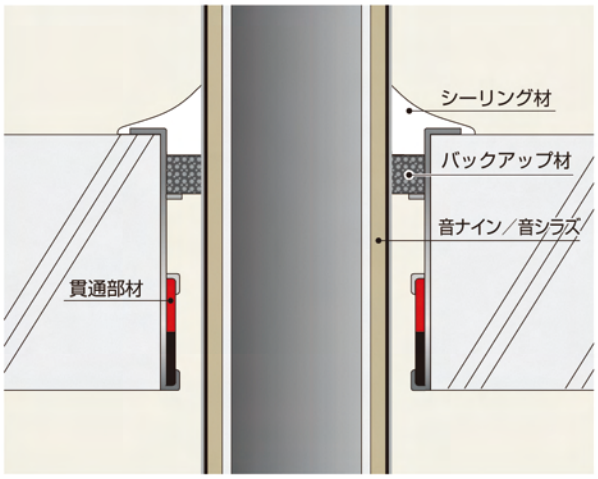
5 シーリング材の充てん

バックアップ材の上にシリコーン系シーリング材を充てんする。
充てん後、開口部と音ナイン／音シラズの間に隙間の無いことを
確認する。



注(1) シーリング材は保持具の上部ツメが隠れるように､充てんして下さい。

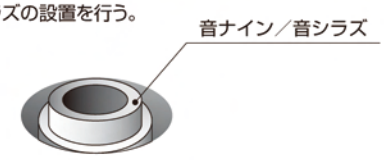
標準施工図



床 貫通(継手)

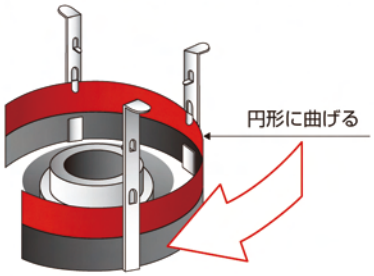
1 配管

音ナイン／音シラズの設置を行う。



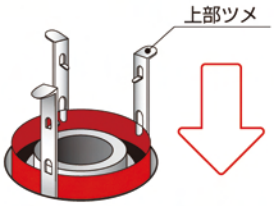
2 貫通部材の取付け準備

貫通部材の取付け前に、開口部周囲の埃・ゴミ等を除去する。
上部ツメが外側を向くように、貫通部材を円形に曲げる。



3 貫通部材の取付け

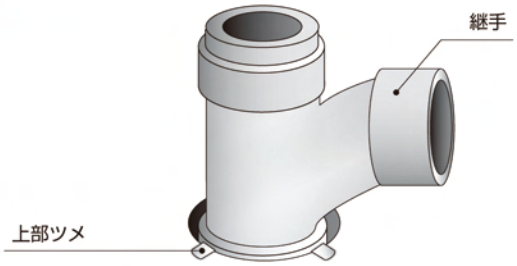
上部ツメを持ち、床に引っかかるまで挿入する。



注(1) 貫通部材は必ず継手を組付ける前に、取付けて下さい。

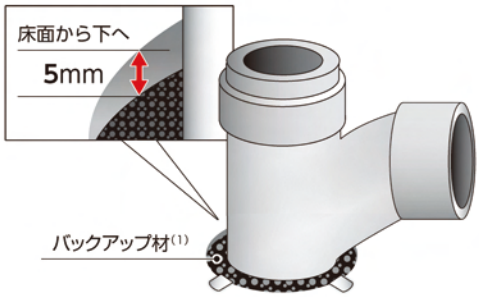
4 継手の組付け

継手を組付ける。



5 バックアップ材の埋設

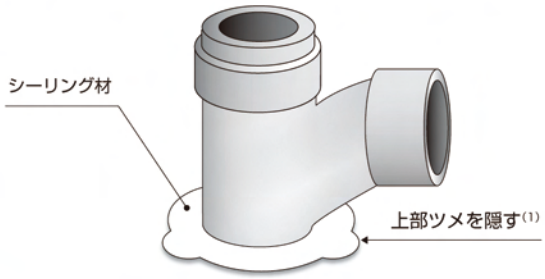
開口部と音ナイン／音シラズの隙間に、付属のバックアップ材を、
床面から下へ 5mm の位置で埋設する。



注(1) バックアップ材の合せ目が重ならないように施工して下さい。
呼び径65の場合、バックアップ材を50mm切断して下さい。

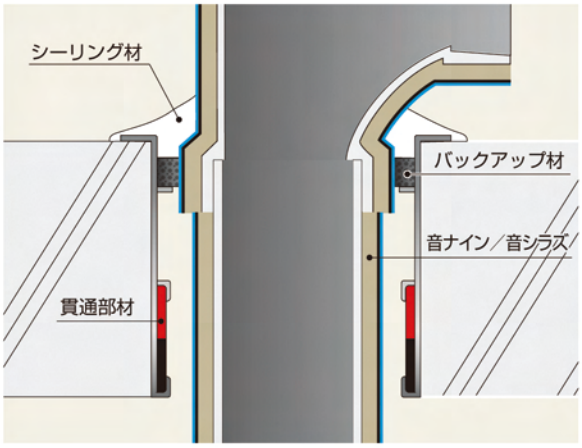
6 シーリング材の充てん

バックアップ材の上にシリコーン系シーリング材を充てんする。
充てん後、開口部と音ナイン／音シラズの間に隙間の無いことを
確認する。



注(1) シーリング材は保持具の上部ツメが隠れるように、充てんして下さい。

標準施工図



壁 貫通

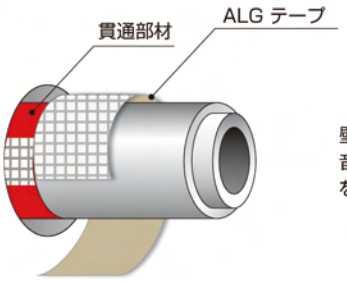
1 貫通部材の巻付け

音ナイン／音シラズの設置を行い、開口部周囲の埃･ゴミ等を除去する。

貫通部材を音ナイン／音シラズに巻付け、合せ目をALGテープで留め、貫通部材を壁内部にスライドさせる。

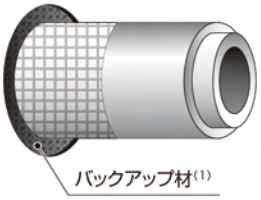
注(1) 貫通部材は壁表面から内部に向かって 15mm の位置までスライドして下さい。
注(2) 貫通部材の向きは、赤黒で問いません。

2 ALGテープ巻き



壁端部の位置で、音ナイン／音シラズに付属のALGテープを巻き付ける。

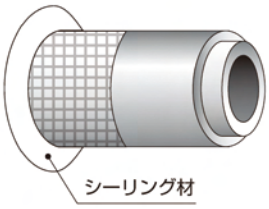
3 バックアップ材の埋設



開口部と音ナイン／音シラズの隙間に付属のバックアップ材を埋設する。

注(1) バックアップ材の合せ目が重ならないように施工して下さい。
呼び径65の場合、バックアップ材を50mm切断して下さい。

4 シーリング材の充てん

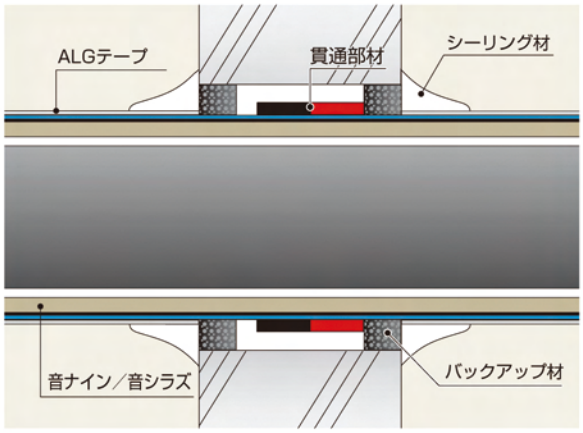


開口部と音ナイン／音シラズの隙間をシリコーン系シーリング材で充てんする。

充てん後、開口部と音ナイン／音シラズの間に、隙間の無いことを確認する。

反対側についても、同様の施工を行う。

標準施工図



取扱注意点

①開口径は配管サイズに応じて異なりますので、ご注意下さい。
②開口部に配管する際、管と開口部間の隙間は最低 7.5mm 確保して下さい。
　隙間が 7.5mm 未満の場合、貫通部材を挿入できなくなる恐れがあります。
③適用配管以外は施工できません。適用する管の詳細は認定書、評定書をご確認下さい。
④0℃以下の環境下では施工しないで下さい。
⑤シーリング材は、シリコーン系シーリング材 (JIS A 5758 適合品) 以外は使用しないでください。
⑥区画貫通部の隙間の処理は、モルタルの埋戻しではありませんので、ご注意下さい。
⑦区画貫通部以外に使用しないで下さい。
⑧保管は、屋外、暖房機器などの熱源を避け、涼しいところに保管して下さい。